

YUKI KAWAUCHI

川内 優輝

■ 陸上・マラソン

かわうち・ゆうき

①- ②1987.3.5 ③175cm・62kg

④東京都世田谷区 ⑤学習院大

⑥- ⑦- ⑧現状打破



日本、世界を駆け回り オンリーワンのプロランナーに

「史上最強の市民ランナー」と称された川内が2019年4月から、あいおいニッセイ同和損害保険に所属。21年にフルマラソンで自己ベストを更新するなど、プロ転向後も快進撃を見せる。同社と共にマラソンを通じて地域貢献に取り組む「マラソンキャラバン」にも力を入れ、「オンリーワン」のプロランナーを目指して、充実した時間を重ねている。

さらなる自己ベスト更新を目指しつつ、地域貢献活動にも従事

プロ転向後、川内が掲げてきた目標は「競技力向上」と「地域貢献」の2つ。前者の内容は、自己ベスト更新と2時間7分台の達成だった。その思いをついに遂げる。21年2月開催の「第76回びわ湖毎日マラソン」で2時間7分27秒をマーク、10位になった。13年「ソウル国際マラソン」(2時間8分14秒)以来、8年ぶりの記録更新となり、「少し年数がかかりましたが有言実行で更新できて、ゴールしたときはうれしかったですね」。22年には「第50回全日本実業団ハーフマラソン大会」(山口県山口市)で1時間2分13秒を出し、今度は10年ぶりにハーフマラソンで自己記録を更新した。同年、10kmでも自己ベストを更新するなど次々と自己記録を塗り替える。好調の要因について、「高地合宿や寒冷地合宿、さらにスピードを磨き直そうとトラックレースの短距離も走ったり、練習量より練習の質を高めるよう



フルマラソンサブ20・100回目となった「防府読売マラソン」

に取り組んできました。シューズを厚底に変えたことも良かったと思います」と分析。「レースを自分から動かしたり、勝負強さという面も追求したい。並行してスピードもつけていき、競技面ではさらなる自己ベストを更新したいですね」

一方で、川内はマラソン大会を通じて地域との交流、貢献につなげ、各地の社会課題に取り組む全国行脚プロジェクト「マラソンキャラバン」を通年にわたり展開している。このプロジェクトは同社所属と同時に、会社側から提案され、これまで45ヶ所(23年8月時点)で開催してきた。以前より「地域貢献したい」という思いも強い川内は、「(同社の)各支店の皆さんにはボランティア以外でも協力していただいたり、期待以上のことをしていただいています」と感謝を述べ、「マラソンは子供からお年寄りまで各地域でいろんな方と交流できます。走るだけでなく、これまでマラソンで得てきた経験をお話しし、『私も頑張ってみよう』とか何かきっかけを与えられたら。会社も私も地域で何かをしたいという思いが強い。今後も一緒に続けていきたいと思っています」と誓う。「旅行が好きで遠征や合宿、マラソンキャラバンで地方に行くことが息抜き。仕事自体を楽しんでいます」と明かした。

ギネス更新にはカレーが必要不可欠?! 今後も強い信念で走り続ける

別の名誉も手にしている。20年12月開催の「防府読売マラソン」で2時間10分26秒をマークし2位に。フルマラソン2時間20分切りとなる記録が100回目に達したことを受け、会社がギネスワールドレコーズジャパン社に世界記録更新を申請し「ギネス世界記録TM」に認



「ギネス世界記録TM認定式」

定された。こちら更新が続き「2時間20分なので少し体力が落ちてまだまだやっけていけるかなって。日本全国、世界各国のマラソンを巡り、生涯かけてギネス記録も更新していきたい」と決意を述べた。会社側では、このギネス記録の栄誉を記念し、21年にカレーハウス「CoCo壱番屋」とコラボしたオリジナル記念品のレトルトカレー「かわうち君カレー」（非売品）を作った。マラソンキャラバンの抽選会でもプレゼントしており、参加者から喜ばれている。高校時代、強豪選手に倣ってレース前日に験担ぎでカレーを食べることにしたという川内は「今でもレースの前日にカレーを食べ、次の日はレースだ！」と気を引き締めています。大会後には、その地域の名産をいただくことも楽しみの一つ」という。

「その都度、決断をして失敗なども経て、いまの自分がある。皆さんにお伝えするためにも、まだまだ成長しているところを見せていきたいです」。今後も信念を持って走り続ける。



参加者から好評のかわうち君カレー



第7回川内の郷かえるマラソン (福島県川内村2022年9月)



「さが桜マラソン2023」(佐賀県佐賀市2023年3月)



「第5回日本最北端わっかない平和マラソン」でのじゃんけん大会(北海道稚内市2022年9月)

「マラソンキャラバン」 主な取り組み内容

- ①川内選手出場
- ②キャラバンブース設置(川内選手使用ウェア、シューズ展示など)
- ③当社社員による大会ボランティア参加
- ④キャラバンブースにて川内選手サイン会・写真撮影会
- ⑤オリジナルNFTカード無料配布

＜プラスワン企画＞

- ⑤川内選手講演会、トークショー、ちびっこランニング教室等イベント
- ⑥川内選手サイン入り「マラソンキャラバンオリジナルTシャツ」抽選プレゼント

自己ベスト※2022年8月現在

フルマラソン	2時間7分27秒(2021 びわ湖毎日マラソン)
ハーフマラソン	1時間2分13秒 (2022 全日本実業団ハーフマラソン)

主な日本代表歴

2014年	第17回アジア大会(仁川) マラソン	銅メダル
2017年	第16回世界選手権(ロンドン) マラソン	9位
2019年	第17回世界選手権(ドーハ) マラソン	29位

その他・主な戦績

2018年	ボストンマラソン	優勝
2019年	バンクーバーマラソン	優勝
2020年	防府読売マラソン	2位
2022年	大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン統合大会	9位(MGC出場権獲得)